



【ラズクルーズ+リブロファズ療法について】



様

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

めやすの時間			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目	
薬の名前	作用																															
カロナール錠	過敏症を抑えるお薬です	1日1回 内服																														
レスタミン錠																																
リブロファズ注	抗がん剤です	5分																														
ラズクルーズ錠	抗がん剤です	1日1回 内服																														

☆治療開始後4か月間は、静脈血栓塞栓症予防のため、血液を固まりにくくするお薬エリキュース(=アピキサパン)の内服が開始となります。

*前立腺肥大症や閉塞隅角緑内障がある方はお知らせください。



治療による副作用

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
自覚症状	過敏症																													
		痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																												
	食欲不振・吐き気																													
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																												
	口内炎																													
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																												
	下痢																													
		便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																												
皮膚症状(皮疹、乾燥、爪囲炎など)																														
		にきびのような発疹ができたり、皮膚が乾燥してひび割れができることがあるので、保湿剤を使うなどして予防しましょう。																												
	手足のしびれ																													
		手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																												
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																														
		髪質が少し変わることもあります。治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																												
検査値	白血球減少																													
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいなどを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																												
	赤血球減少(貧血)																													
		貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																												
	血小板減少																													
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																													
腎機能低下																														
	顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																													
肝機能低下																														
	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																													

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていますが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

- 心不全(呼吸困難、倦怠感、むくみ) ●間質性肺炎(発熱、空咳、息切れ、息苦しさ) ●血栓症(胸の痛み、足の腫れ・むくみ)
- 浮腫(急激な体重増加・むくみ、ふらつき) ●角膜障害(目の痛み、充血、視力低下、目やに)



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 抗がん剤投与および投与後一定期間は適切な避妊を行ってください。
- * 自動車運転等を行わないよう注意が必要です。主治医の指示に従ってください。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

広島市民病院薬剤部